

ダムのぬいぐるみ化で、目指せ！ダムぐるみグランプリ in九州

近年、温暖化の影響もあり

強い雨が降りやすくなってる反面、雨が降らない時期が増えると聞いています。

ますます、ダムを含めたインフラ施設の役割、理解が重要になってくるのではないのでしょうか

しかしながら、ダム（インフラ施設）や防災、自然環境をテーマにした時になかなか興味を持って貰うには難しいテーマなのではないのでしょうか

まずは、ダムそのものに親しみ、ダムに興味を持って貰うきっかけ作りとしてダムのぬいぐるみ化を提案します

現在、すでに江川ダムに親しみを持ってもらいたい、興味を持って貰いたいとの考えから江川ダムをモチーフして誕生した

えがっち（非公式ぬいぐるみ）を施工（個人制作）しています。

私調べにはなりますが、特定のダムを表現したダムのぬいぐるみは日本初だと思います。（未発表に該当しない可能性もありますが）



特定のダムを表現したダムのぬいぐるみの素晴らしいところは、ダムぐるみ（ダムのぬいぐるみの略称）のチャームポイントを紹介すると、モチーフにしたダムの特徴を表していること
えがっち（ダムのぬいぐるみの名前）の場合は、チャームポイントが江川ダムの特徴になります。



ダムカードを参考にして作られたプロフィールが書かれたカードや缶バッジ、ストラップなどグッズを制作し販売中です(個人的に)



目標は、

えがっちと共に、ダムぐるみとしてゆるく情報発信をしたり、グッズの制作等を行っています。が

えがっちを活動事例にし(実際に存在している方がイメージしやすい)

九州のダムのぬいぐるみ(公式)のお友達が沢山誕生するきっかけにし

ダムぐるみのお友達が沢山できた暁には、ダムぐるみグランプリ in 九州(どのダムのぬいぐるみが、ダムの特徴をとらえていて可愛いいか)を開催する事で、ダムのイメージを一新させる

えがっちが大きく成長して(等身大のゆるキャラ)になったら

地域のお祭り、イベントなどに参加をして防災活動、水の啓発活動などを訴える事で、小さいお子さんの時期からダムに親しみを持って貰うこと、その先には、水を考えるきっかけにすることです。

えがっち自体は、すでに存在していますので未発表にはあたらないのかもしれませんが

ダムのぬいぐるみ化を広げる、ゆるキャラ化は、まだ実現してないことですので
「夢のような話を本気でしよう」のキャッチフレーズにひかれて応募しました。